

みなさんの愛読紙は？
 につけい
 まいにち
 かな
 あさひ
 よみうり
 みんゆう
 みんぽう
 とらきょう

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 302

2017(平成29)年6月2日(金)発行

「読ませたい人たちは読んでくれない」○2月19日に86歳で死去した文学者林京子さんの言葉です。■「私のものを読んでくださる方は、もうすでに読まなくていい人たちなんです。でも、引っ張ってきてでも読ませたい人たちは読んでくれないんですね」(4月23日『朝日新聞』)と。■新聞記事や論説、市民団体のチラシ、聴いてほしい講演会、大切な情報もしっかり読んで欲しい方は読まないで“耳からの情報”で「いいんじゃないの」と判断します。「共謀罪」を「テロ」と名を変えただけで、“賛成”が増えてしまう悲しさ。無関心と無知を巧妙に利用する為政者たち。

《自民党改憲草案》を考える⑮ 9条に自衛隊を明文化》

2020年東京五輪を口実に、「改憲」や「共謀罪」法をめざす



憲法改正に向けて
 ともに頑張らしましょう
 憲法改正推進派のフォーラムに寄せたビデオメッセージで改憲について語る安倍晋三首相＝3日午後、東京都千代田区

- 5月3日、安倍晋三首相が突然9条改憲を、「読売新聞」のインタビューや同日開かれた改憲派の集会に寄せたビデオメッセージ<左写真>で表明し、国民を驚かせ、不安を与えています。
- 内容は、「9条1項(戦争放棄)、2項(戦力不保持)を残しつつ、自衛隊を明文で書き込む」というものです。
- でもこれは、9条1・2項に矛盾し、また先の「自民党改憲草案」の9条で自衛隊を国防軍にする案とは異なります。
- 発表の仕方も異常で、国会の憲法審議会を無視、東京五輪を口実に20年施行など勝手に期限を示し、ただ改憲したいだけか。
- 突然表明した背景は、「森友・加計学園隠し」かも知れません。

「9条さわるべきでない」河野洋平元衆院議長が批判「突如としてああいうことをおっしゃる言い方に全く驚いている。憲法は現実に合わせて変えていくのではなく、現実を憲法に合わせる努力をまずしてみることが先ではないか。憲法には国家の理想がこめられている」(6月1日『朝日新聞』)

●荻上チキさんがパーソナリティーのTBSラジオ「セッション22」という番組で、憲法学者の木村草太さんが「改憲の費用は850億円」と指摘。いくらかかろうと、自分のお金ではないので平気です。

新刊 ピーコ・谷口真由美・佐高信著『お笑い 自民党改憲案』(株)金曜日発行 ¥1,000+税

やりたい放題のアホな改憲案と笑うしかありませんが、その後怖ろしくなってきます。

青木理著『安倍三代』朝日新聞出版発行 ¥1,728 母方の祖父岸信介を慕う「晋三」は無知で傲慢のお坊ちゃま。しかし父方の祖父「安倍寛」は平和主義者で、父「晋太郎」の信望は大変篤かった。

「共謀罪」について、不安に思うことは

- ①テロ対策として「共謀罪」は必要なのか？
- ②一般市民も捜査対象になるのではないのか？
- ③テロのための準備行為と通常行為の判別は困難だ。
- ④捜査機関の乱用になるおそれがある。

＜5月21日TBS(テレビユー福島)テレビ・サンデーモーニング＞

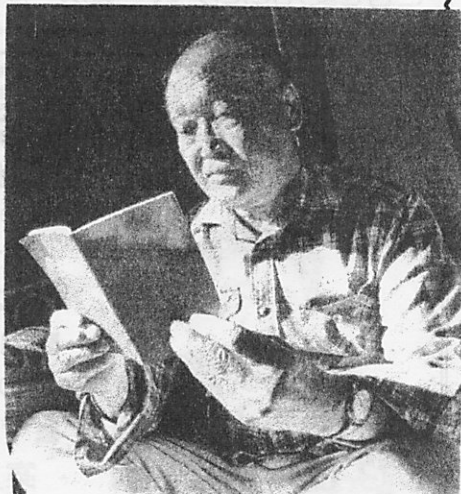
○国連人権理事会のジョセフ・カナタチ氏は、「共謀罪法案はプライバシーや表現の自由を過度に制約するおそれがある」との書簡を、5月18日安倍首相に送付していますが。

○全国の57自治体で「反対」や「慎重な審議を求める意見書」を可決。○福島県では会津若松市・喜多方市・川俣町・湯川村は「反対」を採択、南相馬市は「慎重な審議を要望」と決議しました。

南相馬市の「憲法」冊子の配布は、全国でこんなにニュースに

私たち「九条の会」の陳情が採択され、昨年5月に南相馬市全世帯に配布された『憲法』冊子ですが、市民の反応を新聞やテレビは次のように紹介しています。

- ①2016年4月26日付『毎日新聞』大阪版・夕刊 <本会会報No.281にコピー掲載>
- ②2016年5月3日18:15 TUF (テレビユー福島) ニュース <会報No.281に掲載>
- ③2016年9月28日関東1都6県、10月3日福島県内のNHKテレビニュース『70年目の憲法』(9分間)で紹介。被災民と25条の生存権を考える。<会報No.292に要旨掲載>
- ④2016年11月3日付『朝日新聞』・社説「憲法公布70年」で、南相馬市全戸配布を紹介。<会報No.293に掲載>
- ⑤2016年11月5日付『信濃毎日新聞』特集「時代と憲法・憲法公布70年」。小高区から長野県安曇野市に避難している佐藤信行さん(72歳) <右写真>▶は、『憲法』冊子を読んで「いろいろな権利が保障されている」と感じたそうです。
- ⑥2017年2月8日NHK・Eテレ・ハートネット「暮らしと憲法・原発被災者」(29分間)。『憲法』冊子を配布した桜井市長さんの意図、また小高区の市民たち6名を訪ね、どう受けとめたかを好意的に取材し、具体的な条文も説明していて大変分かり易い。<会報No.298に要旨を掲載>
- ⑦2017年4月11~14日、『北海道新聞』・特集「憲法70年・もう一人の起草者」4回。
①南相馬に鈴木安蔵あり。国民主権うたい全58条。②国のかたち獄中で模索。③(鈴木)の反抗心 陰に転向の過去。④権利の保障国民の手で。これら4回の特集(見出し)で、鈴木安蔵らの憲法研究会の原案作成の思いを、熱く深く分析しています。



⑤・⑦の記事コピーをご希望の方は、事務局員までお申し出ください

<事務局より>

5月3日の金子勝氏講演会・『日本の青空』上映会に多くの入場者、そして本会に新加入の方が6名、さらにたくさんのカンパも寄せられ、感激しながら、心より感謝申し上げます。

韓国の新大統領文在寅(ムンジェイン)氏を支えた韓国の若者の政治意識の高さに感動します。日本の若者はどうなのか、不安です。

教育勅語もヒトラーの『わが闘争』も、教材として使用可能と閣議決定。歴史から何も学

んでいない。ドイツ、オーストリア、オランダでは今も禁書です。呆れて言葉もありません。

共謀罪や改憲に抗議するため、本会としては犬の遠吠えのようですが“できることで”活動。「デモなどで訴えよ」という声もあります。会員個人では国会前デモやチラシ配り、署名活動も。

6月18日の本会総会の会場は原ノ町駅前・市立中央図書館内の2階ホールです。お忙しい中、ご出席よろしくお願いいたします。

“年会費”も未納の方は受付で収めてください。

<「はらまち九条の会」事務局 市外局番はTEL 0244>

- 会長: 平田慶肇(ひらた けいいち) TEL24-1211・FAX24-4825
- 事務局長: 早坂吉彦 〒975-0016南相馬市原町区仲町2-161 TEL22-0326
- 事務局次長: 山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール: yamazakiken1@gmail.com
- 会計: 井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892
- 石田賢二 TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○志賀勝明 TEL090-9530-5524
- HP: 大浦祥見 TEL24-0704 ○栗村文夫・桂子 TEL090-8851-6904 ○田中徳雲 TEL090-2796-4066